

## 令和5年度人事異動の概要

### 1 人事異動の基本方針

令和5年度は、第三期中期目標の達成に向けて経営基盤のより一層の強化・安定化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症をポピュラーな疾患と捉えて通常の医療提供体制へシフトさせていくなど重要な課題に対応し、安全・安心で質の高い医療を提供するための体制を整備する。

### 2 人事異動の時期

令和5年4月1日、6月1日

### 3 人事異動のポイント

#### (1) 足柄上病院再整備事業の推進に向けた体制整備（4月）

再整備事業を着実に推進するため、事務局の事業担当を増員して体制を強化

#### (2) がんセンターの特定機能病院承認に向けた医療安全体制の充実・強化（4月）

ア 薬剤師の夜間配置のための体制整備

薬剤管理体制の充実・強化を図るため、薬剤師を増員して夜間配置を行うための体制を整備

イ 副院長（医療安全管理担当）の新設

医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務を統括する医療安全管理責任者として副院長（医療安全管理担当）を新設

#### (3) がんセンターの重粒子線治療の推進に向けた体制整備（4月）

治療室の稼働室数を増やして重粒子線治療を推進するため、医学物理士、診療放射線技師を増員して体制を強化

#### (4) 循環器呼吸器病センターの心臓血管外科における入院診療、手術の再開に向けた体制整備（4月）

外来診療による対応のみとなっていた心臓血管外科において入院診療、手術を再開するため、医師を確保

#### (5) 所属長の採用（4月）

所属の管理・運営を行う優秀な人材を広く募集することにより、質の高い医療の提供を図るため、所属長の公募による採用を実施

○ こども医療センター総長 黒田 達夫

#### (6) 小田原市との連携（４月）

県西地域における基幹病院である足柄上病院及び小田原市立病院の相互連携、協力の推進を図るため、小田原市との人事交流を実施（足柄上病院看護師を小田原市立病院へ派遣し、小田原市立病院看護師をこども医療センターへ受入れ）

#### (7) 神奈川県幹部職ポストへの職員派遣（４月）

神奈川県立平塚看護大学校長として看護師（専任教員）を派遣

#### (8) 他団体への職員派遣等

##### ア 事務職（６月）

神奈川県から幹部職員等８名の派遣職員を受入れ

##### イ 看護職（４月）

(6)及び(7)のほか、神奈川県に２名、公立大学法人神奈川県立保健福祉大学に３名の職員を派遣

### 4 参与の新設

当機構の運営課題全般に対する助言等を求めるため、参与を新設し、阿南英明神奈川県理事（医療危機対策担当）兼医療危機対策統括官及び井上貴裕千葉大学医学部附属病院副院長兼病院経営管理学研究センター長に委嘱

### 5 人事異動の規模 全病院で総数 180 名の異動

区分	足上病院	こどもC	精神C	がんC	循呼C	本部
所属長級	0	0	0	1	0	1
局長級	0	1	0	2	0	0
部長級	1	6	2	4	2	1
課長級	7	11	6	8	5	2
その他	16	27	13	36	13	15
計	24	45	21	51	20	19

### 6 採用と退職

#### ○ 令和５年４月１日付け採用者数

区分	足上病院	こどもC	精神C	がんC	循呼C	本部
事務	2	0	1	1	1	1
医師	12	15	4	11	5	0
看護師	16	77	13	51	6	0
医療技術	3	5	1	8	4	0
福祉	0	1	2	0	0	0
計	33	98	21	71	16	1

○ 令和5年3月31日付け退職者数

区 分	足上病院	こどもC	精神C	がんC	循呼C	本部
定年退職	5	12	8	12	4	1
勸奨退職	0	3	2	2	2	0
自己都合退職	23	54	8	37	10	0
計	28	69	18	51	16	1

○ 令和5年4月1日付け再雇用職員数

区 分	足上病院	こどもC	精神C	がんC	循呼C	本部
採 用	7	4	3	9	0	0
延 長	10	9	12	8	5	3
計	17	13	15	17	5	3

○令和5年3月31日付け再雇用退職者数

区 分	足上病院	こどもC	精神C	がんC	循呼C	本部
退 職	7	1	5	1	1	0